いわき民報
平市田町四八　電三八一番
編集兼發行人　千輝克巳
常時臨時人を除く
日刊　但月陸
定價一月四十円
一部一円五十錢
發行所
いわき民報社

是非はいづれに

翠ケ丘の看護婦就職妨害

結核療養に専念する一看護婦の再就職をめぐり翠ケ丘病院や職組が新しい彼女の看護勤務先である望洋荘へ脅迫を加え間接に彼女の再職妨害の擧に出たため、堪りかねた彼女は平勞働基準監督署に提訴、全署で早速調査に乗出したものゝ厳密な意味における法規上の違反にならぬため兩者を一應斡旋したまゝ手を引いたが感情上の問題はいささかも解決されず依然割り切れぬ氣持を双方に殘して世の心ある人びとの批判を乞うに至っている

院長や職組と意見對立

問題の主人公吉田看護婦さん

その看護婦とはもとは江名町國立療養所翠ケ丘病院に勤め現在磐道をへだてて全院の眞向いの丘にそびえる東北療養所「望洋荘」の臨時看護婦となっている吉田ちるさん（二六）である。吉田さんは昭和十七年宮城看護婦養成所に入所以來一貫して看護婦生活を送り本年七月十二日翠ケ丘病院（院長大久保留吉氏）に勤務していたものであったが、先頃全院庶務係員（十一月末退職）と看護婦の品行問題等について院内の職員組合員（組合長勝本金一郎氏）及び大久保院長らと意見の對立を生じ遂に去る十一月十二日表面上依願退職の形で退院したものであった、ところが去る十二月一日附を以て從來翠ケ丘病院の委託經營下にあった「望洋荘」（院長代理青沼平保健所長）その傘下を脱し常磐炭鑛を始め大炭鑛のほか四倉セメント、吳羽化學等の健康保險組合のバックを得て獨立し、院長も新に飯田千秋氏を正式に迎え陳容を一新して新發足をすることとなったため吉田さんは十二月一日より全荘に就職、臨時看護婦として目下以前に變らぬ患者の良き友として働いていたものである

思い余り勞基署へ

翠ケ丘望洋荘へ協力拒絶

これを知った翠ケ丘病院のひとゝは面白く思はず十一月三日大久保院長らは青沼院長代理や望洋荘の新らしい後援者常磐炭鑛勞務課出淵實氏らと懇談

同人を使用することは勝手だが當方としては今までの行がかり上感情的に面白くもないから今後協力は出來ない

と申入れ、青沼氏らも「臨後的な手傳いであるから」と翠ケ丘病院側の申出を一應諒解したものゝ、これを聞いた吉田さんは耐え切れず思い余った末六日平勞基署に陳情方を要請、こゝに全署の調査となったものである

違反せぬが

就職妨害

勞基署手をひく

平勞基署では事態を重視十五日花澤署長、新谷次席、角田係員の三名が現地に出張調査をしたが十七日右につき新谷次席はつぎのように語った

彼女を雇えば今後感情上協力しないといったことは一種の就職妨害といえよう、しかし勞基法上での違反とはならない、感情上の問題まで當署ではタッチ出來ない

感情上から

當然だ

翠ケ丘の言い分

大久保翠ケ丘院長は全院職組幹部とゝもに語る

雇ってはこまるとは言わない、唯感情上、又德義上無識的に考えてみて望洋荘で彼女を使うならば今後はいろ〳〵の面で協力できない

と言ったのだ、勞法上では吉田さんのほかに以前當院を無行その他五項目の理由で免職した婦長青木和子氏を使っているが、この人のことは私の方では何もいわなかったのだ、それなのに更に吉田さんを使うとなれば、感情上面白くないのは當然だ

人身攻撃拒

んだが原因

當の吉田さん談

當の吉田さんは十七日つぎのように語った

私は品行上何のやましいことはありません、去る九月の職組大會の席上某係員うの品行について論議された時私は人身攻撃をすることを拒みました、そんなことや何やで感情上職組のひとゝや院長と合なくなり退めたのです

良い看護婦

正式に採用

望洋荘事務長談

望洋荘事務長和田飛吉市氏は語る

吉田さんは非常に仕事に熱心であり、患者にも好れているし、又御當人も希望しているので正式に採用するつもりです

了解に苦し

むばかりだ

望洋荘院長代理

青沼保健署長談

望洋荘の院長代理を勤める青沼保健所長は十七日この問題について次の様に語っている

先頃の懇談會席上、大久保さんからそんな事は何ったが一應臨時的に使うことに諒解を得たがその後吉田さんの勤務ぶりが良好であり又患者のうけも非常によいしあんな遊戯で結核患者の看護に當ってくれる奇特な人も少いので今日に至っている、青木さんにしても昨年六月迄私が翠ケ丘の院長を兼務していた間では私行上悪い話は聞いてない、どうして一看護婦の事をそんなに氣に病むんですかね——一寸解りませんね

解釋出來ぬ

行き過ぎだ

田邊保健婦理事長談

以上の問題につき「望洋荘」の經營に當っている縣健保組合連合會福島支部理事長（常磐勞務課副課長）田邊實氏は先月末だったか私は正式に今までの委託經營されたお禮やら青木婦長採用の問題等につき大久保さんや職組の方がたに會ったが、その時その看護婦に關する先方の希望はきいたし、しかし採用しないと約束はしない、いづれにせよ何故先方でそんなに氣をもむのか一寸解らない、第一具体的な例を擧げずに漠然と不品行だと言はれても解釋のし様がない

と語り、更に全職組の態度について私見を問うと

行過ぎと思いますね、健全な組合のあり方としては悪い傾向でしょうと述べている

生活權侵害

職組の態度は御用組合

組合勞働運動部常幹談

常磐炭鑛勞組書記長大森榮雄氏は全組合幹部らとゝもに語る

明かに行過ぎだ、第一勞基法違反でないといっても一旦退職した人間についてとやかく言うのは個人の生活權の侵害だ、その組合は御用組合だよ

御用組合呼ばれ

も蓋し當然の事

角田全基署分會長談

なお直接當事者にあたり自ら調査の任に當った平勞基署係員、全勞準福島支部平分會長角田勝雄氏は以上について翠ケ丘職組の態度をつぎのように語っている

自分でよく調べたから實情は良く知っている、もちろん勞基法にふれないが明かに個人の生活權をおびやかす行爲だ、御用組合といわれても仕方があるまい

歲末に融打開

融資保証協會を

商工會議所内に設置して

押し迫る年末を控え金詰りに打開に必死の對策を練りつゝあった縣下各地の中小企業家達はこの程平商工會議所に手をたづさえ縣當局と共に「中小企業振興本部」を福島市に設置「融資保證協會（假稱）」を内部に設けて積極的な金融打開に努めることとなったが平商工會議所では十六日午後市一町（白河）の商工會議所に集を始め四

なお各辯護人の被告擁護制度やら青木婦長採用の問題等につき大久保さんや職組の方がたに會ったが、その時その看護婦に關する先方の希望はきいたし、しかし採用しないと約束はしない、いづれにせよ何故先方でそんなに氣をもむのか一寸解らない、第一具体的な例を

ヤマのダニ堀川御用

手のつけられない暴れもの

ヤマのダニ狩りに腰を入れた内郷署では十七日同町高坂宅御殿常磐炭鑛鑛電氣工手堀川政光（二四）を恐喝、暴行傷害罪で逮捕、十八日身柄送検した、同人は本年一月十八日同町白水字鶴井場内鑛電力係修理工場内洗面所で同鑛電工武子好延君（二三）を女房をもったと威張るなと及ぼり約一尺位の短刀で左足を切りつけ全治十日間の傷を負せ、更に居合せた電力係村賀せ、更に居合せた電力係村田武弘君にも短刀の峰で頭部を強打、また五月中旬鑛鑛内線工藤所で同町鑛電氣工十五嵐秀丸さん（三九）に對し靴の修理に必要だから三千円貸せと喝取繰いて數日後同人宅へ押しかけて千円を更に七月初旬千五百円その後十一月十四日紅葉狩に行くのだからと脅し千円と計六千五百円をまきあげたほか十月下旬同町鑛字秋山電工齊藤世七さん（三四）に野球のユニホームを買うから金を貸せと二回にわたって千七百円を喝取したもので他に十數件の余罪がある

給配

量表の申込

市では先に量表を二百十五名の申込者に對し六十八名だけ配給したが今度更に追加分が到着するので待望者は二十四日までに市土木課窓口に申込むよう注意している一戸八枚まで、先に申込んで配給洩れになった者は再申込をしなくても良い

大掛りな辯論陣決る

二十一日川德親分らの公判

去る十月二十二日磐城下大物暴力團狩の嵐に敢なく檢擧、以來平刑務支所獨居房に收容ぶた川德親分こと川和德一（三五）を始め弟分や子分のか林政次郎、伊藤勇三、關口井亮、會川昭雄、佐藤存、新妻富好、鹿俣愛次、渡邊幸助、馬上惠一、矢戸幸夫、村上忠ら十二名にかゝわる「殺人未遂」及び暴行傷害（川德のみ）の第一回公判はいよ〳〵二十一日午前十時頃から（傍聞未定）からと決定した、係判事は志村裁判長、檢事は宮後上席檢事である辯護人側には當平法曹界の市井茂、門馬清吾、眞木桓、秋元元作、山野邊義政、永野柳造の大氏に更に仙台より伊藤清、水戸より增田弘、福島より飯澤喬の三辯護士がはせ參じ總計九名の辯護士が强力な辯論陣を展開することとなったため文字通り未曾有の大公判となるものとみられ當日の法廷は傍聽席も滿員になるものと殺氣さ

壽鑛問題で

再度委員會

壽炭鑛爭議問題について磐石炭鑛勞働委員會は去る十七日磐務局平出張所に開き（非公開）種種協議したが勞働組合連動として同炭鑛の爭議内容に疑義をもち十八日壽炭鑛勞資各三名の代表者を呼んで再度委員會を開き實情を聽取し協議對策を練った

矢郷炭鑛

團体交渉

内郷町矢郷炭鑛勞組では十八日會社側と團体交渉について の事務折衝をやい來る二十日團体交渉をなすことに決めた

犬ドロ

捕わる

市内月見町自動車運轉手四家福平（三七）は去月中旬田村郡瀬川村鎌水業松下榮次さん方の預犬ポインターを盜み十七日平惡に

解釋出來ぬ

行き過ぎだ

田邊保健婦理事長談

以上の問題につき「望洋荘」の經營に當っている縣健保組合連合會福島支部理事長（常磐勞務課副課長）田邊實氏は先月末だったか私は正式に今までの委託經營されたお

いわき寸言

◆一看護婦をめぐり翠ケ丘感情に走り過ぐ、職組もこゝまでくると在り方が判らなくなります

◆正しい人間を感情で殺す勿れ個人の攻撃こそ余りに封建的のこと、ヨク〳〵注意すべし

◆働くものゝ妨害こそ密に排るものゝつゝしむべきこと知れ

眼鏡專門
各眼科醫指定
玉屋
平市二丁目電話90

誠光堂の
本年最後の大サービス
年末年始クリスマスの御贈答に大特價品を
時計、指輪、萬年筆、ライター
特にライター銀ぴか、時計の三割安の大奉仕
それに二十三、四、五、三日間は
百萬圓當る賣くじ券付大賣出し
（御買上三百円毎に）
期間十二月二十日より一月二日まで
平市銀座街（電九六六）
誠光堂時計店
平市驛前
誠光堂支店

壹百萬圓當る
賣くじ景品付
クリスマス大賣出し
（動業銀行）
一月卅一日迄
お買上參百円毎に壹枚進呈
壹百円毎に補助券一枚差上げます
期間十二月三日～二四日～三五日
臨時賣店募集中（申込所阿康藥局電四四）

リンゴ酒「新制」
自由販賣（市内各酒店にて販賣中）
平市荷捌所　合名會社　白秋酒店
電四四二

即金
受御買
衣類一般
御遠方品の御相談は必ず弊店へ
平銀座ヨコ紅小路
（梅ノ湯横通）電96番
誠實上値の買受店　大崎屋

麻織物　麻服地紺染（捕修布）
麻糸　麻白シャツ　麻手拭　麻布ホ！ス
漁業資材　地曳網　各種網類
營業品目
輸出麻卓布加工
東洋繊維株式會社
東北北海道代行店
磐水社
平市銀座街

みづしま號
三菱重工業株式會社島機器製作
種類
A型　運轉台付普通貨物自動車
B型　助手席を有す特殊物品運搬用全スチール箱型ライトバン
大型　三輪自動車
寒い日も暑い日も雨の日も風の日も一度以上の荷物を積んで楽々走る力の強い大型三輪自動車
みずしま號
普通自動車と三輪車の中間機能を狙い且機構の簡素强ジン燃料の經濟に加へ運轉の簡便は原始的運搬機具たりし車馬と一刻も早く切り替る事が商業經營の勝利者となりましょう
福島縣總代理店
旭自動車工業株式會社
本社工場郡山市臨月町電四〇大七六八
平支店平市田町四五電一〇三〇

八代氏を訪れて

史談會員　鈴木光四郎

史談會第十三回の例會は十二月十二日區島村の八代義氏を訪ねることとした。この日風も無く靜かな日であつた。參會者は山森會長志村裁判長はじめ十六名、五名の警高生が參加した。十時近く御代の八代氏宅に着いた。

八代氏は考古學者、鄉土研究の權威者として又縣の國寶保存、史蹟名勝、天然記念物の調査員として活躍され又區劃村長として村の進展に努力されている。

八代氏を圍む座談會

八代氏は青年時代に社會問題の研究に志したが社會問題の探求には人間の過去を知らねばならないと考えられて歷史の研究を始めた由である。氏は靜かな言葉で

現在福島縣の五ケ所の國寶建造物の修理について計畫を立てているが豫算額不足のため思わしくなく戰爭によるブランク時代も加わつて、こうした研究調査の事業は意のまゝに進展しない、文化國家として立つ日本にとつて誠に悲しむべきことである。靜岡縣は登呂遺跡の發掘に三十万円を補助していることに比較するとき本縣は未だしの感がある。お互に協力して歷史の研究に努力しなければならないと申して居られた。又氏のせきの研究についてはせきは關の古い文字で勿來や白河の關は狹い關所でなく當時の重要的要塞線であつて長い距離にまたがつていることに注意しなければならないと說明された。

八代氏所藏の參考品について

氏は先づ數々の石器、土器を示された。特に土隅や夏井村大越石田の磯石の附近にあつた蓮の模樣のある瓦など手にとつて說明された。又縣下各地の國寶や史蹟名勝の貴重なる寫眞が保存されていた。石城の鄉土史については飯川江筋の重要なること內藤時代に石城の領地が統一されていたために大土木事業が起り農る環境にあつたこと、小川江筋についても以前からその土台になるものがあつたこと說明された。

文書としては須賀川の一醫堂源十原江南齋、秋田域介梁賓客の二醫堂より安藤雄えの感札や本郡の岩城氏と關係の深かつた相馬高胤、義胤、忠胤、貞胤、昌胤などのものがあつた。その一部は次の通りである

令破不慮ここもと志賀城え來る神妙の段仍關澤村一円令援候最隣境無意可相守也

延德三（四百五十年前）六月十二日　相馬高胤

又忠胤の定も所藏されていた。これは手習に關する注意書である。

一、書のうち三度の手習一度に二十ぺん都合六十ぺン也書くべからずよん所なき所有之に於ては二度には苦しからず候

もつとも白紙に二へんより多く書くべからず每日清書可仕者也

一、讀書の事

大學一日に十くだりづつ但し文字の下りつづかざる所は文字の數一日に百六十づつより可申者也

後西院のしん筆

これは鹿島村光西寺（臨濟禪宗）所藏のものである。添書として新院樣御しん筆の延寶二歲壽松二十八日、從常修院樣拜と記され禪法和尙の持參せるものと云う。現在は重要美術品に指定されている。

ながき日の森のしめ縄くり返し
あかずかたらうほととぎすかな

光西寺と御代の貝塚

中食を終えて八代氏の御案內によつて同村御代の熊野光西寺を訪ねた。光西寺は父弘濟寺とも稱して臨濟宗である。山門より入ると右側に丈食の佛像がある。この地方に珍らしく大きい像である。禪法和尙の志を受けた伊勢崎の竹內莊左衞門氏等の協力によつて明和四年（百八十年前）に出來たものであると書かれてあつた。

それから御代の貝塚に向つた。同村御代字台畑子の荒川源重氏所有の畑一帶が貝塚である。石城の鄉土史にいつては飯川江筋の重要なること內藤時代に石城の領地が統一されていたこと、小川江筋の一部は次の通りである。

大高・植田の鮫川上流、泉の松小屋、田邊、磐崎の白鳥、鹿島の住吉、御代、小川村、大野村藥王寺に延びて海岸線を形成していた御代の貝塚もそれを證明しているのである

荒川氏の貝塚を見學して小川に沿うて街道に向つたのは一時過であつた。右側の丘には小さいつぼみのついた梅や椿が春待ち顏にわれ〳〵を迎つてくれた

八代氏の御好意に感謝しつつわれ〳〵の車は鹿島路を北に走りつづけた。車中で次の例會は高久村神谷作の古墳發掘を見學しようか、また正月には植田の古川氏を訪ねようかなどと語り合つた。東の空には十二日の月がかすかに姿をあらわしていた（二十三年十二月十三日記）

八百五十名を解放

平職安所の勞働ボス狩り

平公共職業安定所では職業安定法制定一週年を期し先月二十日以來管內町村の勞働ボス狩りを行つていたが同法違反と認定したもの十件八百五十名の勞働者を解放した、この違反者は何れも學校、官公廳關係の建築業者で勞働者の供給により中間搾取的行爲をしていたものばかり、地域的には福田、內鄉地に好間、江名の一部もふくまれており特に內鄉、江名兩町で建築を急いでいた警察署の建築業者も全然安定法の規定を無視した態度で工事を進めていたので係員もびつくり、嚴重に注意を促した、同所では中間搾取の勞働ボスとして認定したものゝうち改善の意志のないものは解体させる方針をとつている、同安定所では右について語る

公共事業を行うものに違反が多いのは遺憾だ、特に警察署の建築を施行する町當局がうかつながらも違反行爲をしていたのにはおどろいた、一般に中間搾取である勞働者供給業についての認識が低調である

上旬は赤字

常磐炭田出炭調べ

常磐炭田十二月上旬の出炭數は管內目標十万一千五百トンに對し九万五千八十一トン達行率九四%で六千四百十九トンの赤字であつた、即ち東北部目標七万三千四百トンに對し六万六千九百四十四トン達行率九一%、東部二万八千百トンに對し二万八千百三十七トンの達行率一〇〇%となつており、縣內のみでは目標六万五千五十トンに對する達行率九四%の六万九百五十トンで常磐、日曹福島小野田戶部、上山田、品川、黑田、三和の七炭鑛が目標を突破したが磐、矢鄉炭鑛はハンスト二十四時間スト等により成績不振だつた、特に磐炭鑛は日來のオール、ハンストにより出炭はなかつた、なお稼働日數は八、八日常磐炭田三大

醫は仁術のお手本

表彰祝賀會催された大森醫師

民生事業功勞者表彰に國民健康保險組合の功勞者である平市南町醫師大森勇氏（六四）をかこむ祝賀會は既報の如く鈴木市長らの發起で十七日午後一時より公會堂日本間に開き阿部助役、金古市議長らの祝辭あつたのち大森氏より南町に開業してから四十年の思出について語るところあり終つて平磯保兒の遊戲など午後四時まで老夫婦をかこんで樂しいひと時を送つた

暗い世相の中に社會事業功勞者として祝賀を受けた大森氏は明治三十九年京都帝大を卒業後直ちに笠原內科の研究室に勤め同四十四年退職、長野須坂町須坂病院に入り大正元年市內南町三番地に大森醫院を開業今日に至つた人でその間大正八年以來民生委員として社會事業に盡すいする一方國民健康保險醫としても良く勤め庶民階級から大森先生は貧乏人の味方だと親まれ幾多の無料診察にも應じ時には他町村に臨診に出掛け患者側では金がないので大變りすると「わしは金はいらぬが車屋さんには氣の毒だから拂つて欲しい」といつて車代の工面に半日も待されたと云う幾多の逸話もあり下駄履きに往診鞄をもつた同氏はどんな貧民層へでも通い民生委員とし庶民は良き相談相手でまた民生委員協議會には必ず出席していたがこの眞剣目さが實はれ十月一日北海道に開かれた全國民生委員大會並に十一月十二日東京で開かれた

金詰が響いた馬市

石城馬匹組合主催でおこなはれた當于駒セリ市は八日を皮切りに澤渡村中寺市場田人村上遠野村家畜の各家畜市場に開かれたが平均二万一千円で去年の二万四千円に比するとかなり價格がひくく飼育農家では去年よりは景氣がよいだろうとの期待を裏切られた狀態であつた。原因は去年より飼育管理はよかつたが關外からの買手（馬商人）が案外少く矢張り金詰りが深刻に影響した。

◇各市場の狀況は左の通り

◇田人村黑出出場頭數百四十三頭賣上金二百五十九万九百円

◇澤渡中寺三百二十五頭七百四万三百円

◇上遠野村三百九頭、七百二十九万三千四百円

なお最高値は上遠野市場の牡馬五万五千円であつた

二人組少年

ドロ捕わる

二（一六）市內四丁目銀町新制中學生（一六）の兩名は去る十月四丁目雜貨商新妻信子さん方から穀粉約三十册を盜んだほか磐女高校や第一小學校からグローブやボールバスケイク等十數件盜みを働いたこと發覺十七日平署へ

見よ美しの隣人愛

水戶部さん內鄉民生委表彰

內鄉町字滝伐探火水戶部金太郎さん（五二）ほか組員十四名は組員赤坂たねさん（五四）が約半歲余の病床中憂ろに看護した上、死亡するや遺兒內鄉一中三年生和善君（一六）を水戶部さんが引取り養育するなど去る十日の町民生委員會から隣人愛精神の龜鑑と金一封を添えて表彰された

赤坂さん一家は昭和四年栃木縣から移住してきたが、當時たねさんの夫喜市さんは現場一筋より公會堂日本間に開き阿部助役、金古市議長らの祝辭あつたのち大森氏より南町に開業してから四十年の思出について語るところあり終つて平磯保兒の遊戲など午後四時まで老夫婦をかこんで樂しいひと時を送つた

暗い世相の中に社會事業功勞者として祝賀を受けた大森氏は明治三十九年京都帝大を卒業後直ちに笠原內科の研究室に勤め同四十四年退職、長野須坂町須坂病院に入り大正元年市內南町三番地に大森醫院を開業今日に至つた人でその間大正八年以來民生委員として社會事業に盡すいする一方國民健康保險醫としても良く勤め庶民階級から大森先生は貧乏人の味方だと親まれ幾多の無料診察にも應じ時には他町村に臨診に出掛け患者側では金がないので大變りすると「わしは金はいらぬが車屋さんには氣の毒だから拂つて欲しい」といつて車代の工面に半日も待されたと云う幾多の逸話もあり下駄履きに往診鞄をもつた同氏はどんな貧民層へでも通い民生委員とし庶民は良き相談相手でまた民生委員協議會には必ず出席していたがこの眞剣目さが實はれ十月一日北海道に開かれた全國民生委員大會並に十一月十二日東京で開かれた

火藥類の取締強化

石城地方事務所では藥の指示に基き最近火藥類の盜難、不正使用等による災害事故、密狩續發に鑑み警察と連絡の上火藥類消費所銃砲火藥類販賣業者火藥類貯藏等の取締を強化することになつたので關係方面に協力方要望している

恐喝男御用

川部村小川無職半澤正（二〇）は植田地區署に十七日恐喝罪で檢擧、同人は十一月初旬密所診療所を請負工事中の田仲組が不正を働いている事を察知同所無職星光保（二一）と共謀同人から五千円恐喝したもの

法廷だより

◇藤村竹雄らと共謀、平刑務所を破り逃走の途中、市內吉緞谷町飲食店佐藤兼江さん方から現金三百円と紺背廣一組そのほか十一點を盜んだ上小川村丸山組土工柴田昭雄（二一）彰山孝（二一）の兩名は十七日地裁平支部で柴田は懲役二年彰山は全一年但し三年間執行猶豫の言渡しかあつた

◇伊達郡川俣町無職高橋よしの（二二）に係る窃盜罪公判は十七日平簡裁で懲役一年の判決

平專賣局のヤミ取締り

年末年始も強行

專賣局平出張所ではタバコ賣捌商一組そのほか十一點を盜んだ上小川村丸山組土工柴田昭雄（二一）彰山孝（二一）の兩名は十七日地裁平支部で柴田は懲役二年彰山は全一年但し三年間執行猶豫の言渡しかあつた

◇伊達郡川俣町無職高橋よしの（二二）に係る窃盜罪公判は十七日平簡裁で懲役一年の判決

丸公事件不起訴の決定に就て御挨拶

當磐城丸公魚市場は列車の取締に依つて押收した鹽干魚介藻類を取扱いましたがその間に不正ありとして取調べを受けて居りましたが今回不起訴の御決定を受け晴天白日の身となりました私達は固く業務を行つて來た積りでありますから今日あるを信じて居りましたが、此の間多數皆樣の御同情に對し深く感謝致すと共に今後は當市場從業員一同益々結束し使命達成に邁進して御期待に副うべく努力致す覺悟で御座いますから舊倍の御引立御援助賜るやう御願い申し上げます

磐城丸公魚市場
理事長　坂本直吉
專務　伊藤彌兵衞
外社員一同

他人から預つた衣類が紛失せましと山積されているだけに例えズボン一本失敬されても大變、その上店の信用問題にかゝるとなか〳〵眞剣、眞夜中「コトリ」と音でもしようものなら一家總動員で不寢番の務め、飼犬のワン君から愛猫のニャン子嬢までこの時とばかり必死の警戒網を布陣するとは眞によき防犯協力の範ですナ

友

師走の風とゝもに殺人強盜婦師等々の横行が激しくなる、お互に藥品するのは警察官だけだが一番心配なのは善良な市民達、夜もろく〳〵寢れない、

新神式脫穀機
小型穀粉機
單相モーター
製縄機
電動機一式
セメント
瓦工藥

石城郡磐崎村
織內農機店
電話湯本一四八

健康のモトは
毎月一回清腸日を
1 腸の殺菌排除（清腸藥）
2 回虫蟯虫の駆除（虫トシ）
3 レバロン、カルシウムの榮養藥の補給（ツカレ、ムシワカズ）
日本健民醫牛飼育研究員
醫民健康保險藥劑師
公衆衛生師
藥劑師
阿部康雄
阿康藥局
平市田町銀座街

本場自慢の牛豚肉
平驛前
親切本位
緑屋商店
電話七九四（ナナク）